



なっとくんの

なるほどなっとくニュース

Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。



いなほまつり きつね よめい 稲穂祭「狐の嫁入り」

くだまつしはなおか
下松市花岡



これは、^{はなおかしょうまえ}花岡小前の^{かんぼあとち}勘場跡地(なっとくニュース211号参照)から^{はなおかえき}花岡駅までの^{きゅうかいどう}旧街道を、^{きつね}きつねの面をかぶった^{しんろうしんぶ}新郎新婦が^{じんりきしゃ}人力車に乗り、^の後ろに^{うしもんつき}紋付袴姿の^{はかますがた}親族や^{しんぞく}お供をつれて、^{とも}ゆっくり進むお祭りです。その由来は…?



1724年のある日、^{ねん}花岡の^ひ法静寺の^{ほうせいじ}住職が、^{じゅうしよく}徳山へ出かけた^{とくやま}帰りに^て数珠をなくしてしまいました。その夜、^{かえ}住職の^{じゅうず}枕もとへ何者かが立って

「^{わたし}私たちは、^{しらむがもり}わけあって^し白見ヶ森で^{しろうきつね}死んだ^{こんばん}夫婦の^{じゅうず}白狐です。今晚、^{じゅうず}数珠を^{とど}届けに^き来ました。そのかわり、^{わたし}私たちの^{いたい}遺体を^{ひとさま}人様と同じように、^{おな}この^{てら}お寺に^ひ引きとって^{くだ}下さい。そうすれば、^{ひとびと}人々を^{さいなん}災難から^{まも}守ることを^{やくそく}お約束します。」

^{じゅうしよく}住職が^め目を^さ覚ますと、^{まくら}枕もとになくしたはずの^{じゅうず}数珠があった。^{じゅうしよく}住職は、^{しろうきつね}すぐに^{いたい}白狐の^ひ遺体を^ひ引きとって、^{にんげんどうよう}人間同様に^{くよう}供養をした。



^{しゅうなんしくめ}周南市久米の^{けんどうぞ}県道沿いにある^{しらむがもり}白見ヶ森と^{ふしみいなりしゃあと}伏見稲荷社跡です。
「^{きつね}狐の^{よめい}嫁入り」の行列は、昔^{むかし}ここまで来ていたそうです。



1830年、^{ねん}代官所で^{たいせつ}大切な^{しよまつ}書物がなくなり、^{ほうせいじ}法静寺の^{しろうきつね}白狐の^{はか}墓に^{まい}参って「^{がん}願」をかけました。すると^ま間もなくその^{しよまつ}書物が見つかりました。^{だいかんじよ}代官所はお礼に^{てら}寺の^{けいだい}境内に^{しろうきつね}白狐を^{やしる}まつた^た社を建てました。

そのときから、^{いなりさま}お稲荷様としてまつるようになったそうです。^{ごこくほうじょう}五穀豊穰、^{しょうばいはんじょう}商売繁盛に加え、^{くわ}なくしもの、^{たずね}たずねものが^み見つかるという^{りやく}ご利益があります。

レッツ
チャレンジ!

11月3日、^{がつ}稲穂祭「^{いなほまつり}狐の^{よめい}嫁入り」が、^{ねん}3年ぶりに^{かいさい}開催されました。^{えんどう}沿道には、^{きつね}狐の^{しんろうしんぶ}新郎新婦の^{はな}華やかな^{すがた}姿を^{ひとめ}一目見ようと^{おお}多くの人で^{ひと}にぎわいました。
^{ちいき}地域のお祭りに^{まつ}参加し、その^{さんか}由来について^{ゆらい}調べて^{しら}みましょう!

